

ライフィノベーション(環境制御)学位プログラム(博士前期課程)

共通基礎科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|----------------|------|-----|--------|------|------|----|---|--|--|
| OAXA001 | 医学概論 | 1 | 1.0 | 1 | 春A | 火3,4 | | 檜澤 伸之, 関根 郁夫, 家田 真樹, 正田 純一, 森島 祐子, 榎本 剛史, 山崎 正志, 丸島 愛樹, 松本 功, 許東 洙, 乃村 俊史 | 悪性新生物、心疾患、脳血管疾患は日本人の死因の上位を占める疾患である。また、整形外科疾患および外傷(スポーツ外傷も含む)は日常的に遭遇することの多い疾患である。これらの疾患について、主に臨床医学の側面からその病態、治療法、治療成績、ならびに解決すべき課題について概説し、関連する研究分野の世界的な動向について学ぶ。 | 01RC001と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) |
| OAXA002 | 創薬概論 | 1 | 1.0 | 1 | 通年 | 応談 | | 宮前 友策, 保富 康宏, 杉山 哲也, 伊東 洋行, 戸田 浩史 | 製薬企業等において、新薬を上市するまでにどのようなプロセスを経る必要があるのか、創薬の戦略について学習する。また、創薬研究に使用されるモデル生物の特徴や、感染症に対するワクチンの開発と実用化について理解を深める。 | 01RC002と同一。 英語で授業。 その他の実施形態 Combination of Online (Asynchronous) and Face-to-face |
| OAXA003 | 食品科学概論 | 1 | 1.0 | 1 | 春A | 火1,2 | | 磯田 博子, 坂本 和一, 市川 創作, ネヴェス マルコス アントニオ | 食品科学は食品を対象とした学問であり、扱う研究分野は非常に広範囲である。また、食品科学に関する研究は日々進歩しており、過去の事例から最新情報まで広くフォローする必要がある。本講義では、食品科学技術に関して、物理的、化学的、生物学的、生化学的、工学的アプローチに基づき、基礎から先端応用まで概説する | 英語で授業。 その他の実施形態 Combination of Online (Asynchronous) and Face-to-face |
| OAXA004 | バイオリソース概論 | 1 | 1.0 | 1 | 秋A | 月1,2 | | 小林 正智, 高橋 真哉, 大熊 盛也, 中村 幸夫, 吉木 淳, 阿部 訓也 | 本講義ではライフサイエンスイノベーションの推進におけるバイオリソースの重要性とバイオリソースセンターの役割について理解を深めることを目指す。そのために動植物個体、細胞、微生物リソース、及び関連技術、付随情報について、スペシャリストによる講義を受ける。 | 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) |
| OAXA005 | 自然史概論 | 5 | 1.0 | 1 | 秋A | 集中 | | 高橋 真哉 | 動物学と植物学における研究例のいくつかを紹介し、自然史研究について概観できるようになることを目指す。各分野での概論を講義した後、動物学分野では、動物の進化における寄生物の発生、寄生蟻虫類・動物地理学・生物多様性の研究、寄生蟻虫類の分類と多様性について講義を行う。寄生蟻虫類の分類については実習を行い、その理解を深める。植物学では、植物におけるフラボノイド化合物の特性と分布、コケ植物の生態学・形態学、コケ植物の分類学について講義を行う。コケ植物の分類学については実習を行い、その理解を深める。 | 英語で授業。 10/21, 10/28 対面 担当者未定 |
| OAXA011 | バイオインフォマティクス基礎 | 4 | 1.0 | 1 | 春AB | 金2 | | 櫻井 鉄也, 二村 保徳, Ranjith Kumar Bakku | 本科目では、バイオインフォマティクスに関する基本的な事項を学ぶ。データプロセッシング、シーケンス解析、データ可視化、ネットワークとグラフ、クラスタリング、スーパーコンピュータと並列計算に関する講義に加えて、計算機を利用した演習を通して、基礎理論や実践的手法の理解を深める。 | 01RC006と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) |
| OAXA012 | 医薬品・食品マネジメント学 | 1 | 1.0 | 2 | 春A | 木3,4 | | ブリリアル マイラ, 寺崎 直, 山本 信行, 柏木 健一, 白形 由美子, 内海 潤 | 近年、ライフサイエンス分野の研究成果を基にした製品開発や製品化に関しては、知的財産権の管理が重要になってきている。今後は当該分野の研究者も、これらに関する知識を持ち、自身でもその管理に関わることが課題になっていくと考えられる。本科目では、第一線の専門家により、医薬品・食品ビジネスマネジメントに関わる知財管理、運用、投資について、創薬・機能性食品・薬用化粧品開発の実例を提示してもらい、理解を深める。 | 01RC007と同一。 英語で授業。 その他の実施形態 Combination of Online (Asynchronous) and Online (Synchronous) |
| OAXA013 | レギュラトリーサイエンス | 1 | 1.0 | 2 | 春AB | 集中 | | フォンテス セシル ルギャル, Rage Andrieu Virginie, ブリリアル マイラ | レギュラトリーサイエンスは、科学技術基本計画において、「科学技術の成果を人と社会に役立てることを目的に、根拠に基づき確かな予測、評価、判断を行い、科学技術の成果を人と社会とも調査の上で最も望ましい姿に調整するための科学」と定義されている。本講義においては、日本およびヨーロッパにおいて、レギュラトリーサイエンスが、医薬品および医療機器の有効性、安全性、質の保証において果たす重要な役割について、概説する。 | Students other than the 2nd-year T-LS1 cannot register the subject. 01RC008と同一。 英語で授業。 4/21, 4/26, 5/10, 6/7, 6/14 その他の実施形態 Combination of Online (Asynchronous) and Online (Synchronous) |

| | | | | | | | | | | |
|---------|--------------------|---|-----|-----|-------------|----|--|--|--|--|
| OAXA021 | ライフイノベーション実習 | 5 | 1.0 | 1 | 秋学期 春学期 | 随時 | | 宮前 友策, 高橋 真哉, 植村 邦彦, 許 東洙, プリリアル マイラ, 河地 正伸, 小林 正智, 陳 国平, 平川 秀彦, 伊東 洋行, カウル レヌー ワダワ, 川上 亘作, 吉松 嘉代, 亀田 恒徳, 寺本 英敏, 富田 秀一郎 | ライフサイエンス分野の国立研究開発法人(理化学研究所、産業技術総合研究所、物質材料研究機構など)および企業の研究所を見学し、各機関で活躍する研究者と交流する機会を提供する。さらに、各研究所における先端研究に関する講義を行う。学生は、各研究所の研究への独自の取り組み方を学習する。学習成果は学生の研究活動に活かされるだけでなく、大学院修了後のキャリアパスを考える材料となることを目的とする。 | 英語で授業。 その他の実施形態 Combination of Online (Asynchronous) and Face-to-face |
| OAXA022 | ライフイノベーションチーム型演習 | 2 | 2.0 | 1 | 春AB秋 ABC | 金1 | | 神谷 俊一, 宮前 友策 | 本科目は、ライフサイエンスに基づいてアプローチ可能な実社会の中の問題を見つけ出し、プログラム内の異分野の研究を行う学生との協働作業により解決策を提案する演習科目である。本演習を通してイノベーションに必要とされる社会的ニーズの的確な把握と、関連する他分野の専門家との共同作業を行うための能力を養成する。具体的には、ライフサイエンス研究における方法やアプローチ、特許調査の重要性と特許出願、新規研究プロジェクトの計画において必須とされる知識・スキルなどを講義する他、受講者によるプレゼンテーションや受講者同士でのディスカッションなどを行う。 | 01RC017と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) |
| OAXA023 | 責任ある研究行為: 基盤編 | 1 | 1.0 | 1 | 通年 | 応談 | | 平川 秀彦 | 研究活動を行うにあたっては研究倫理規範に精通していることが必須である。本コースは、一般財団法人構成研究推進協会(APRIN)が提供するのeラーニングを利用することにより、学生は責任ある研究行為について理解する。 | オンライン(オンデマンド型) |
| OAXA031 | 博士前期ライフイノベーションセミナー | 1 | 1.0 | 1 | 秋ABC | 集中 | | ゴードینگ コリン, 磯田 博子, フィリパコボロス パナギス, メラー ジェーン, オニール エリック, ガードハンセン マッズ, ステイングリムツソン エイリークル, ヒメネス カストディア ガルシア, ラリュー ライオネル, プリリアル マイラ | 本授業では、海外の協力教員が、ライフサイエンスにおける基礎から最先端の研究トピックに関するセミナーを行う。講師陣とのインタラクティブなやり取りを通して、「どのように経歴を伸ばすか?」や「論文を書くこと、審査プロセス、エディターやレフェリーの見方からみえるもの」について学び、研究者の資質、研究者に必要なプレゼンテーション、ディスカッション、コミュニケーション能力などを学生が獲得することを目的とする。 | 01RC013と同一。 英語で授業。 11/5, 11/8-11/10, 11/11, 11/24-1/27 オンライン(同時双方向型) |
| OAXA041 | 博士前期インターンシップI | 3 | 1.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 平川 秀彦 | 国内外の研究機関、企業、行政機関、本学位プログラムに参画する研究室において研究活動や就業体験をする。新たなスキル・知識を修得するだけでなく、社会貢献に対する意識、専門分野外の人も協働できる能力、新たな問題に対する対応力を養い、社会人としての実践力を修得する。 | その他の実施形態 Case-by-case |
| OAXA042 | 博士前期インターンシップII | 3 | 1.0 | 2 | 通年 | 応談 | | 平川 秀彦 | 前期課程における研究に関連する課題の分野横断的な解決の糸口を見つけることを目的として、国内外の研究機関、企業、行政機関、本学位プログラムに参画する研究室において研究活動や就業体験をする。新たなスキル・知識を修得するだけでなく、社会貢献に対する意識、専門分野外の人も協働できる能力、新たな問題に対する対応力を養い、社会人としての実践力を修得する。 | ライフイノベーション 博士前期研究I春およびライフイノベーション博士前期研究II秋の単位を修得済みの学生のみ履修可。博士前期インターンシップIを履修済みの学生は履修不可。 Case-by-case |

共通専門科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------------|------|-----|--------|------|-----|----|-------------------------------|--|---|
| OAXA10F | ライフイノベーション博士前期演習I秋 | 2 | 1.0 | 1 | 秋学期 | 随時 | | ライフイノベーション学位プログラム博士前期課程演習担当教員 | 各自の所属研究室において、最新の研究論文の抄読会に参加し、自身の研究に関連する論文の内容について、科学的なプレゼンテーションやディスカッションを行い、専門知識を身に付けるためのスキルを身に付け、専門分野における最新の研究知識や研究動向を把握する。この科目はライフイノベーション博士前期演習I春(OAXA10S)、II秋(OAXA20F)、II春(OAXA20S)と補充関係にある。 | その他の実施形態 Online (Synchronous), Online (Asynchronous) or Face-to-face |

| | | | | | | | | | | |
|---------|-------------------------|---|-----|---|-----|----|--|-------------------------------|--|--|
| OAXA10S | ライフィノバージョン 博士前期演習I春 | 2 | 1.0 | 1 | 春学期 | 随時 | | ライフィノバージョン学位プログラム博士前期課程演習担当教員 | 各自の所属研究室において、最新の研究論文の抄読会に参加し、自身の研究に関連する論文の内容について、科学的なプレゼンテーションやディスカッションを行い、専門知識を身に付けるためのスキルを身に付け、専門分野における最新の研究知識や研究動向を把握する。この科目はライフィノバージョン博士前期演習1秋(OAXA10F)、11秋(OAXA20F)、11春(OAXA20S)と補完関係にある。 | その他の実施形態 Online (Synchronous), Online (Asynchronous) or Face-to-face |
| OAXA11F | ライフィノバージョン 博士前期研究I秋 | 3 | 2.0 | 1 | 秋学期 | 随時 | | ライフィノバージョン学位プログラム博士前期課程研究指導教員 | 修士論文を完成させるために各自が所属する所属研究室において、研究計画を立案し、研究の遂行に必要な研究スキルおよび知識を身に付けつつ、研究を進める。研究の進捗状況をプレゼンテーションし、議論を深めることにより、研究の軌道修正を行う。 この科目はライフィノバージョン博士前期研究I秋(OAXA11F)、11秋(OAXA21F)、11春(OAXA21S)と補完関係にある。 | 対面 |
| OAXA11S | ライフィノバージョン 博士前期研究I春 | 3 | 2.0 | 1 | 春学期 | 随時 | | ライフィノバージョン学位プログラム博士前期課程研究指導教員 | 修士論文を完成させるために各自が所属する所属研究室において、研究計画を立案し、研究の遂行に必要な研究スキルおよび知識を身に付けつつ、研究を進める。研究の進捗状況をプレゼンテーションし、議論を深めることにより、研究の軌道修正を行う。 この科目はライフィノバージョン博士前期研究I秋(OAXA11F)、11秋(OAXA21F)、11春(OAXA21S)と補完関係にある。 | 対面 |
| OAXA20F | ライフィノバージョン 博士前期演習II秋 | 2 | 1.0 | 2 | 秋学期 | 随時 | | ライフィノバージョン学位プログラム博士前期課程演習担当教員 | 各自の所属研究室において、最新の研究論文の抄読会に参加し、自身の研究に関連する論文の内容について、科学的なプレゼンテーションやディスカッションを行い、専門知識を身に付けるためのスキルを身に付け、専門分野における最新の研究知識や研究動向を把握する。この科目はライフィノバージョン博士前期演習1秋(OAXA10F)、1春(OAXA10S)、11春(OAXA20S)と補完関係にある。 | その他の実施形態 Online (Synchronous), Online (Asynchronous) or Face-to-face |
| OAXA20S | ライフィノバージョン 博士前期演習II春 | 2 | 1.0 | 2 | 春学期 | 随時 | | ライフィノバージョン学位プログラム博士前期課程演習担当教員 | 各自の所属研究室において、最新の研究論文の抄読会に参加し、自身の研究に関連する論文の内容について、科学的なプレゼンテーションやディスカッションを行い、専門知識を身に付けるためのスキルを身に付け、専門分野における最新の研究知識や研究動向を把握する。この科目はライフィノバージョン博士前期演習1秋(OAXA10F)、1春(OAXA10S)、11秋(OAXA20F)と補完関係にある。 | 01RC507と同一。 その他の実施形態 Online (Synchronous), Online (Asynchronous) or Face-to-face |
| OAXA21F | ライフィノバージョン 博士前期研究II秋 | 3 | 2.0 | 2 | 秋学期 | 随時 | | ライフィノバージョン学位プログラム博士前期課程研究指導教員 | 修士論文を完成させるために各自が所属する所属研究室において、研究計画を立案し、研究の遂行に必要な研究スキルおよび知識を身に付けつつ、研究を進める。研究の進捗状況をプレゼンテーションし、議論を深めることにより、研究の軌道修正を行う。 この科目はライフィノバージョン博士前期研究I秋(OAXA11F)、1春(OAXA11S)、11春(OAXA21S)と補完関係にある。 | 対面 |
| OAXA21S | ライフィノバージョン 博士前期研究II春 | 3 | 2.0 | 2 | 春学期 | 随時 | | ライフィノバージョン学位プログラム博士前期課程研究指導教員 | 修士論文を完成させるために各自が所属する所属研究室において、研究計画を立案し、研究の遂行に必要な研究スキルおよび知識を身に付けつつ、研究を進める。研究の進捗状況をプレゼンテーションし、議論を深めることにより、研究の軌道修正を行う。この科目はライフィノバージョン博士前期研究I秋(OAXA11F)、1春(OAXA11S)、11秋(OAXA21F)と補完関係にある。 | 01RC509と同一。 対面 |

専門科目(環境制御)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------------|------|-----|--------|------|-----|------|---|---|--|
| OAXA601 | 生育環境と機能性成分 | | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋A | 水1,2 | 高橋 真哉, アブデリー シェドリー, 淵野 裕之, 吉松 嘉代, 青野 光子 (宮地), 田村 憲司 | 有用成分を含む薬用植物の発見とその栽培は、天然物質由来の創薬と産業化において重要な課題である。また、土壌、乾燥度などの環境条件は機能性成分含有量の決定因子ともなる。本授業では薬用植物中の天然物化学、生物活性物質の探索、土壌環境と機能性成分の関係、熱帯感染症治療薬の探索、薬用植物の細胞培養、植物工場における栽培、環境変動下における環境ストレス要因の植物への影響、乾燥地・塩性土壌での植物の生態系、およびそれらの事例について紹介する | 西暦奇数年度開講。 英語で授業。 その他の実施形態 Combination of Online (Asynchronous) and Face-to-face |

| | | | | | | | | | |
|---------|----------|---|-----|---|----|------|-----------------------------------|---|---|
| OAXA602 | バイオマス科学 | 1 | 1.0 | 1 | 秋B | 集中 | 高橋 真哉, メイ フィールド ステ ファン | 本科目では次世代の再生可能資源と目されている バイオマス素材の中で、特に藻類バイオマスに焦 点をあてて、有用な機能・成分がエネルギー、食 料、健康および生活保障にどう活用される可能性 があるのか、さらにこれらの機能・成分のビジネ スの現状と将来展望について解説し、議論する。 | 英語で授業。 12/9, 12/10, 12/16, 12/ 17 オンライン(オンデマ ンド型) |
| OAXA603 | 水環境と生命科学 | 1 | 1.0 | 1 | 春C | 水1,2 | 原 啓文, 辻村 真 貴, 内海 真生, 高 橋 真哉 | 水は生命の生存条件を決定する要素の一つであ り、地球上を循環している。したがって、水環境 の動的理解は生物資源を制御する上で重要な課題 の一つである。また、環境ホルモンなど水資源の 安全性を脅かす物質によるリスク評価の生物学的 手法が注目を集めている。本講義は水循環、気候 変動、物質拡散、成層水塊の水理、物質輸送など の自然の水環境の動態解析、および環境ホルモン とその生物学的評価手法に関する理論および実践 に関わる話題を取り扱う。 | 01RC403と同一。 英語で授業。 その他の実施形態 Combination of Online (Asynchronous) and Online (Synchronous) |